# Google を使って文献検索

#### 東京外国語大学 附属図書館

#### \* ガイダンスの解説 \*

ここでは、Googleを使った文献の調査方法を、段階ごとにツールを確認しながら学習します。



- ステップ3: Google Scholar と Google Books を使い分ける。
  - ≻ Google Scholar
  - ≻ Google Books

## <mark>ステップ1:はじめに</mark>

#### <Web 上にはどんな学術文献が存在するか?>

- = 以下の 1~3 は「お金をとること」を前提としているサービスで、4 は「無料で提供」が前提と なります。
- 1. 検索有料 閲覧有料

オンラインジャーナルや論文検索データベースなど、有料サービスで提供 ※学内契約データベースはここに入りますが、学内からアクセスすると皆さんは無料で閲覧できます 例:<u>http://www.tufs.ac.jp/library/top/search/database-category/</u> (データベース一覧(カテゴリ別) @外大図書館 HP トップページ)

2. 検索無料 閲覧有料

上記のうち、有料サービスのため本文閲覧はできないが、検索は無料で提供

例:http://www.ingentaconnect.com/

(文献情報データベース IngentaConnect) -

3. 検索無料 閲覧無料

上記のうち、本文まで無料で公開しているもの (このようなケースも時々あります。各 DB で <u>free</u>・ <u>open access</u> といったアイコンが出ている文献のこと)



#### 4. 検索無料 閲覧無料

フリーアクセスを前提として提供される Web ページやデータベース ※本文は「pdf ファイル」での公開が主流です。html ファイルの場合もあります。 ※論文だけでなく、図書の全頁や一部分が公開されていることもあります。 例:機関リポジトリ(大学等の研究機関が機関発行の紀要や学位論文、所属教員等の発表論文

- を登録・公開するシステム)で検索・閲覧とも無料公開 →本学:東京外国語大学学術成果コレクション <u>http://repository.tufs.ac.jp/doc/</u>
- 例:学会等が、学会誌掲載分を無料で公開しているもの
  南アジア研究 <u>https://jasas.info/publications/relevance/japanese/</u>
- 例:研究者等が個人の著作を無料で公開しているもの、など。

### <Google でどんな文献を検索できるか>

=Web 上には下図のように多くの情報がありますが、Google が検索結果として表示できるのは、 ①Google からのクロールを拒否しなかった場合 ②サービス側がデータ提供した場合です。 Google は様々な学術文献を一括して検索できますが、Google ですべてが検索できるわけではない



## ステップ2:Google を使おう

<Google でどうやって検索するか?>

http://www.google.co.jp/

=通常の Google 検索画面で、検索キーワードの入れ方を工夫する。

☆フレーズ検索:入力した文字順のまま検索する方法

「""(Shift+2)」で論文タイトルを囲んで「"論文タイトル"」と入力します。

Google	「" "」で囲まないと、 and 検索になります。 指定した単語がどこか に含まれればヒットし
"論文タイトル"	ますので、 人重の 検索 結果が表示されてしま
Google 検索 I'm Feeling Lucky	います。

## <例題1>

#### ⇒通常の画面に、例「<sup>"</sup>人には何人の兄弟がいるか : ジャワ神秘的存在論とその展開"」と入力して

#### フレーズ検索してみましょう。



#### «検索結果»

- 学術機関リポジトリデータベース(IRDB) に登録されている論文情報
- 2. 外大の OPAC
- 3. 外大のリポジトリサイト http://repository.tufs.ac.jp/doc/
- ※ 上記はすべて、論文の書誌情報(雑誌のタ イトルやページ数など)と全文へのリンクボタ ンがあります。

<例題2>

⇒通常の画面に、図書タイトル「<sup>"山東方言基礎語彙集"」と入力して検索すると、東外大のリポジト リで図書の全ページを閲覧できます。</sup>

## <オプションを活用>

#### =検索オプションでさまざまな条件を指定できます。



### <Google から電子ジャーナルヘ>

=Google で読めなくても、OAPC を検索すると、電子ジャーナルでヒットすることも(学内アクセス)。		
例題:「語順も含め完全一致」フィールドに、「論文名:Atoms for Peace and Nuclear Hegemony」		
を入力して検索すると・・・	《檢索結果》	
約 1,510 件 (0.39 秒)		
https://journals.sagepub.com > doi - このページを訳す Atoms for Peace and Nuclear Henemony - SAGE Journals	1. Sage 社のサイト	
MJ Medhurst 著 1997 · 被引用数: 81 — Atoms for Peace and Nuclear Hegemony: The Rhetorical Structure of a Cold War Campaign. Show all authors, Martin J. Medhurst. Martin J	Sage 社という出版社のサイト内で公開されているジャ	
https://journals.sagepub.com > doi > pdf	ーナルの情報です。学内・学外を問わず抄録までで <mark>本</mark>	
Atoms for Peace and Nuclear Hegemony - SAGE Journals MJ Medhurst著 - 1997 - 被引用散: 81 — program in presidential rhetoric at Texas A&M University. He is a specialist in cold war rhetoric. His books include Beyond the Rhetoricat	文は閲覧できません(有料)	
https://www.proquest.com> docview - このページを訳す	2. 本学契約 DB ProQuest のページ	
2 Atoms for peace and nuclear hegemony: The - ProQuest Atoms for peace and nuclear hegemony: The rhetorical structure of a Cold War campaign.	学内から本文まで閲覧できました(有料)	
Medhurst, Martin J. Armed Forces and Society; Chicago Vol. 23, Iss. 4, (Summer 1997): 571	3. Semantic Scholar のページ	
https://www.semanticscholar.org>At・このページを訳す 3 Atoms for Peace and Nuclear Hegemony: The Rhetorical Structure	米国のアレン人工知能研究所が開発する無料の論	
Atoms for Peace and Nuclear Hegemony: The Rhetorical Structure of a Cold War Campaign - Martin J. Medhurst - Published 1997 - Engineering - Armed Forces & Society,	文検索エンジンです。こちらも <mark>抄録まで</mark>	
https://www.jstor.org > stable	4. 本学契約 DB JSTOR のページ	
4 Atoms for Peace, Scientific Internationalism, and JSTOR J Krige 著 - 2006 · 按引用数: 249 — Medhurst, "Atoms for Peace and Nuclear Hegemony: The Rhetorical Struc- ture of a Cold War Campaign," Armed Forces and Society 23 (1997): 571–93	学内から本文まで閲覧できました(有料)	



=学術資料情報のみを対象にして検索したもの。Scholar に登録されないものもあるので、これだ けで学術情報の検索が万全、とは言えません。また、論文の信頼性を見極める必要があります。



<Google Books>

論文情報

http://books.google.com/

三図書の書名等の書誌情報、また、本文も対象に検索し、発行年や権利に応じて一部、または全頁

を閲覧できます。

